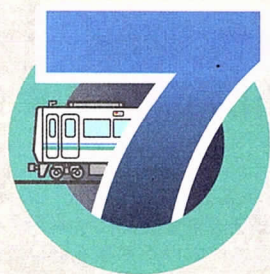




地下鉄7号線

回覧



さいたま市地下鉄7号線
延伸認可申請事業化
実現期成会

2025.8 vol.25

延伸
ニュース

第25号



清水さいたま市長 特別講演会 開催

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会では、4月21日(月)に清水さいたま市長を講師にお招きして特別講演会を開催いたしました。具体的な内容は以下のとおりです。

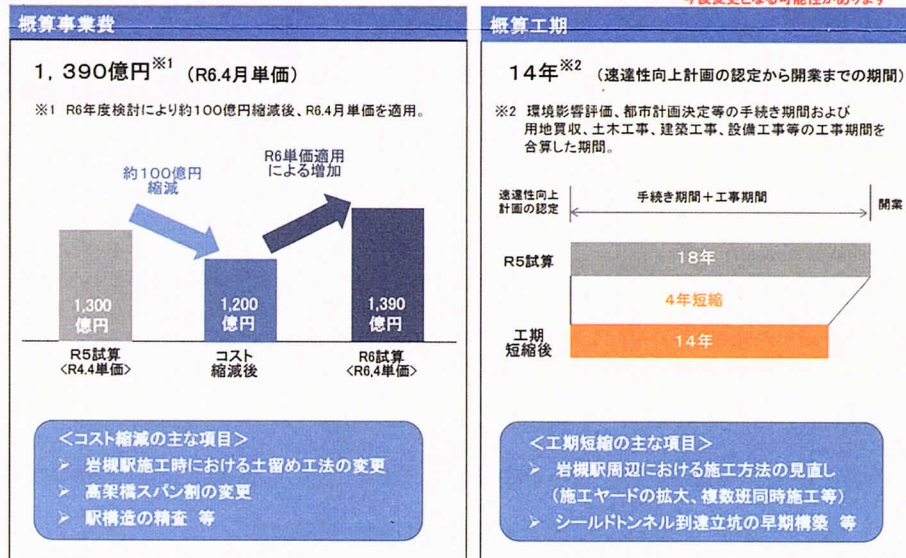
と き: 令和7年4月21日(月)
午前10時
場 所: 岩槻駅東口
コミュニティセンター
多目的ルーム
出席者: 128名



地下鉄7号線延伸事業の現状

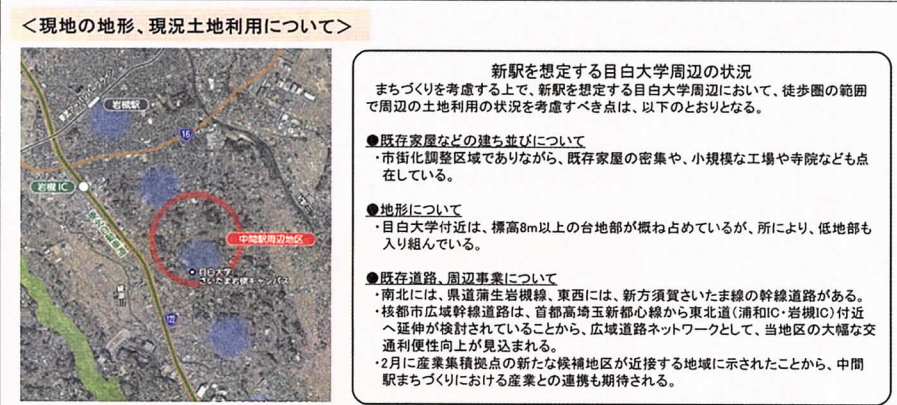
令和6年1月より独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構と埼玉高速鉄道株式会社から技術支援を受け、同年3月に「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸連絡調整会議」を設置・開催し、延伸計画の深度化に向けた検討状況の報告、調整及び情報交換を行ってきたこと、その結果、概算事業費1,390億円、概算工期※は令和5年に試算した18年から4年短縮した14年で検討している旨の説明がありました。

■令和6年度の取組状況<概算事業費および概算工期に関する検討> ※現時点の試算であり、今後変更となる可能性があります



次に、中間駅周辺まちづくり事業について、「中間駅を中心に徒歩圏の範囲を基本とし、最大120ヘクタール程度の広さで、定住人口を10,000人程度」に拡大して検討を深度化する旨話されました。中間駅周辺のエリアはまちづくりのポテンシャルが非常に高いこと、また、核都市広域幹線道路の整備による首都高速埼玉新都心線の東北自動車道への接続の検討、産業集積地点の新たな候補地として笹久保地区が位置付けられたことを説明され、今後は中間駅周辺地域の自然を活かしたグリーンインフラの取組や、目白大学と連携して地域の特徴を活かした魅力あるまちづくりの検討をしていくとの考えを述べられました。

■中間駅周辺まちづくり事業における規模拡大の検討状況



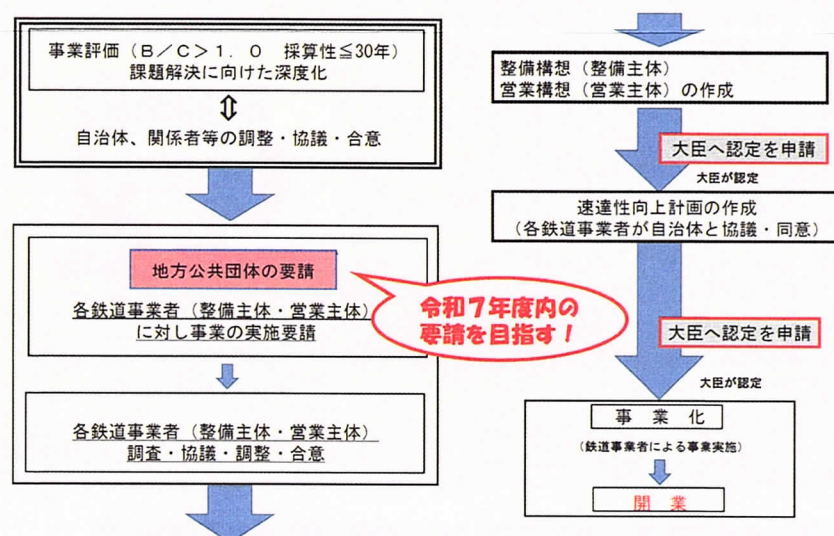
中間駅周辺まちづくりの規模は、この周辺土地利用状況や近年の駅周辺開発の事例、周辺住民・民間事業者ニーズなどを踏まえ、中間駅を中心に徒歩圏の範囲を基本とし、最大120ha程度の広さで、定住人口10,000人程度の規模とし、今後検討を深度化する。

※今後、現地調査や地元意見聴取などにより、精査していくことが必要。

これらの取り組みにより、現時点では、B/C(費用便益比)として、中間駅周辺まちづくりの規模拡大や事業費の将来の物価上昇などを踏まえ、1.0から1.2程度の試算結果が得られたとの説明がありました。
※概算工期は、国土交通大臣の認定を受けてからの期間

今後の取り組み「今年度中の事業実施要請を目指す」

地下鉄7号線延伸の手続きの流れ



今後の取り組みについてもご説明いただきました。
まずB/C(費用便益比)が1を超えて、30年以内の累積資金収支の黒字転換といった都市鉄道等利便増進法の適用目安を達成した「速達性向上事業に関する計画の素案」を作成し、令和7年度内の各鉄道事業者(整備主体・営業主体)への事業実施要請を目指すこと、その後、各鉄道事業者において国への手続きを行い、事業着手、事業実施、開業となるまでの事業の流れを説明されました。

また、中間駅周辺の今後のまちづくりについては、今年度に有識者会議を開催して「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針」の改定を行い、有識者会議と並行して土地区画整理事業の概略検討を進め、区画整理事業を具体化していき、来年度(令和8年度)以降に説明会・意向調査を行うとともに、土地区画整理事業の事業化に向けて設計・測量等を行うなど、鉄道延伸事業と一体的に取組んでいく旨述べられました。

結びに、「地下鉄7号線の延伸は、岩槻区の皆様の長年の悲願であると同時にさいたま市全体の悲願であり、浦和美園地区と岩槻駅周辺地区の二つの副都心を結ぶ多核ネットワークが形成される大変意義のある事業と認識しており、市長として覚悟をもって全力をあげて延伸事業と中間駅のまちづくりを着実に進めていきたい。そのためにも今年度は大変重要な年になることから、引き続き地元の皆様の協力と支援をいただきたい。」との強い思いを述べられ、来場者から大きな拍手が沸き、特別講演会が終了いたしました。



開会挨拶をする筑波会長



多くの来場者がお越しになった会場



開会挨拶をする松永副会長

地下鉄7号線とは？

東京メトロ
南北線

埼玉高速鉄道線

赤羽岩淵駅

川口元郷駅

南鳩ヶ谷駅

鳩ヶ谷駅

新井宿駅

戸塚安行駅

東川口駅

JR武蔵野線

至目黒駅



期成會事務局

7330-9626

さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720

**さいたま市地下鉄7号線
延伸認可申請事業化実現期成会**



— 期成会とは —

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。

主に自治会、経済界、沿線
大学、スポーツ界等の幅広い
メンバーで構成されています

— 期成会が行うこと —

1. 調査・検討事業を行ない
さいたま市へ事業提案を

いたします。

2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。

3. 講演会やイベントなどで、
延伸実現に向けたPR活動
を行います。

— 期成会に加入するには —
趣旨に賛同される方でお

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年々円、企業

個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた

個人の方のご家族、企業等の
従業者の方は、賛助会員とし
てご加入(会費無料)できます。

詳細につきましては、期成
会事務局のさいたま商工会
議所にご連絡ください。

地下鉄7号線
延伸地域
『散策マップ』



地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム（絵文字）入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅地域を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。

（ご希望の方は、期成会事務局にご連絡ください）

地下鉄7号線延伸事業の現状



地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)
延伸連携会議が開催されました。

令和7年3月25日に副知事、副市長が構成員として参画した第1回地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸連携会議が開催され、各関係者の最近の取組の状況報告や今後の取組について積極的な意見交換が行われました。



埼玉県知事、さいたま市長による
意見交換がおこなわれました。

令和7年4月8日に、大野元裕知事と清水勇人市長の意見交換がおこなわれ、今年度内に、県市連名で事業実施要請を目指す旨表明されました。



国土交通大臣へ要望書を手渡しました。

令和7年4月14日に大野元裕知事と清水勇人市長が、事業の実施に向けた支援を求める要望書を中野洋昌国土交通大臣に手渡しました。

地下鉄7号線延伸事業PR動画
「未来へつなごうわたしたちのまち」を公開中

地下鉄7号線延伸事業を広くさいたま市民にPRし、延伸実現に向け「オールさいたま」での更なる気運醸成を目的に作成しました。本動画の撮影にはドローンを使用し、日常とは違う角度から、延伸予定地域を見ることができます。



動画公開情報

本動画のロングバージョン（約7分）をYouTube（さいたま商工会議所チャンネル）にてご覧いただけます。



動画 URL はこちら
(外部サイト YouTube
にリンクします)
[https://
youtu.be/lue-lbbCJJI](https://youtu.be/lue-lbbCJJI)



その他、さいたま市の
催事情報システムで30
秒版の動画を公開して
おります。

地下鉄7号線
誘致期成同盟会
発足

現 地下鉄7号線建設誘致期成同盟会



1969年

1998年